

報告事項No.1

会 議 録

会 議 の 名 称		令和3年度第6回守谷市地域自立支援協議会
開 催 日 時		令和4年3月25日（金） 開会：16時10分 閉会：17時05分
開 催 場 所		守谷市役所 大会議室
所管課		保健福祉部 社会福祉課
出席者	委 員	城賀本会長、新田委員、細田委員、稲田委員、定野委員、清水委員、 安孫子委員、小野寺委員、染谷委員、酒井委員、樋口委員、石福委員、 黒井委員 計 13名
	事 務 局	羽田課長、千葉主任 計 2名

審 議 経 過

1 開 会

2 議 題

（1）障がい児者災害時避難支援ガイドブックについて（協議事項）

第5回守谷市地域自立支援協議会が書面協議となり、委員からあった意見を参考に、当ガイドブック（案）が修正され、内容について説明があった。

委員から次のような意見や質問があった。

【意見】

これは全戸に配るのか。どういう方にどれくらい配る予定をしているのか。ダウンロードできると聞いているが、カラーなどに気を遣う必要はないのではないかと個人的に考えている。

【説明・回答】

地域自立支援協議会の委員、民生委員、自治会に配布したいと考えている。全戸配布は難しいので、ダウンロードで自由に取れるようにしたい。また事業者、関係者、災害時に活動される団体の皆様に配布したいと考えている。

（2）ボランティアニーズの把握について（協議事項）

守谷市障がい者計画（第3期）に基づき、ボランティアニーズの把握を実施することについて説明があった。

委員から次のような意見や質問があった。

【意見】

会社でボランティアを受けていただけるのであれば、ぜひ就労体験をさせていただければありがたい。

【説明・回答】

企業が行うボランティア活動として、アンケート項目にできるか検討する。

【意見】

ニーズを調べてボランティア活動に活かすということは理解したが、例えば本人向けというのを身体障がい者手帳や療育手帳等を所持している人全員に調査するという事なのか。

【説明・回答】

アンケート方法としては、これから検討するところである。実施方法として、障がい手帳を持っている人を無作為抽出で抽出して発送する方法や、福祉サービスを利用している人に対し、障がい福祉サービス事業所に協力をいただき、利用者から聞き取りを行ったりする方法等を検討している。

【意見】

ニーズ調査を行い、どのようなものを作り上げることを考えているのか。

【説明・回答】

障がいをお持ちの方やそのご家族が、こういったボランティアを必要としているのかを確認するとともに、ボランティアを希望している方に対し、社会福祉協議会を通じてボランティアとマッチングできる仕組みができればと考えている。

【意見】

訪問介護の事業所が掃除や洗濯の支援を行っているが、ニーズがあった場合は、そういう領域にまで入っていくのか。

【説明・回答】

障がい福祉サービスで行われることは含めないものと考えている。例えば家族がいる場合は入れない家事援助等の障がい福祉サービス等でできない部分をボランティアの対象として考えている。また障がい福祉サービスに含まれない見守り等も考えられる。

【意見】

ボランティアポイント制度は、65歳以上の方を対象とした事業であるが、もっとボランティア的なことを子供のうちから育てていけばもっとスムーズにいくのではないかと考える。65歳にこだわることはないのではないか。

【説明・回答】

この事業は、健幸長寿課が担当しており、65歳以上の高齢の方で、比較のお元気な方の介護予防の一環として始まった事業である。高齢者がまちづくりの担い手として活躍できるとともに、健康・生きがいづくりを応援する事業である。